

令和6年度学校運営協議会委員研修会

日時：令和6年9月8日（日）13:30～15:30

場所：有田市文化福祉センター

テーマ：「できっこないを やらなくちゃ」

参加者：163名

（参集：107名 オンライン：56名）



【コミュニティ・スクールのさらなる理解に向けて】

国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官 志々田 まなみ 氏

👉 研修内容をファシリテーショングラフィックで！

※ファシリテーショングラフィックとは、参加者の認識を一致させるために、発言を記録・図式化したものことです。

話し合いの内容を、ホワイトボードや模造紙、パソコン画面などに文字や図形を使って分かりやすく表現して、「議論が見える化」する技法です。

R6.9.8(日) 学校運営協議会委員研修会 @有田市文化福祉センター

起 CS理解 ◎ **承** CSは地域学校協働活動で学校運営する **は** 仕組み **結** 協議

Why Point CSの機能 学校と地域 それぞれ抱える課題(育みたい子ども像) 共有・相互理解 活動を選定

「どんな活動しているか」
「どう進めているか」
「プロトタイプが一番大切!!」

コミュニティ・スクールのさらなる理解に 国政研 向け 志々田まなみ氏

協働(めんどくさい) 人口(減) 子ども・保母者 交える大人 学校運営協議会 関係性 効果性 効率性 関係性 関係性 関係性

① ② ③ ④

① 学校と地域 それぞれ抱える課題(育みたい子ども像) 共有・相互理解 活動を選定

② 双方方向性の確保

③ 1. 学校の依頼に地域が応える 関係性
2. 地域が意見要望伝え 学校応える
3. 教員が教え 地域はお手伝い

④ 4. 学校と子どもを支える大人の出会いの場 つながりの場 仲間

ワークシヨップ
ふせん使ってね!
何かを決めるために
多様な人と
話してね!

まとめ
学校運営協議会
報告・相談先だけでなく
学校・地域
相互理解 学び
相談 協議 の場!!

※ 現場で講演を聞きながら記録したものです。

